

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第4区分

【発行日】平成20年4月10日(2008.4.10)

【公開番号】特開2006-236469(P2006-236469A)

【公開日】平成18年9月7日(2006.9.7)

【年通号数】公開・登録公報2006-035

【出願番号】特願2005-48993(P2005-48993)

【国際特許分類】

G 11 B 7/004 (2006.01)

G 11 B 7/125 (2006.01)

G 11 B 7/135 (2006.01)

【F I】

G 11 B 7/004 C

G 11 B 7/125 C

G 11 B 7/135 Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年2月22日(2008.2.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

単層又は多層の信号記録面を有する光記録媒体に対し、光源からの光束を対物レンズにより集光して情報の記録或いは再生を行う光学的情報記録再生装置において、

再生光量を前記単層の信号記録面を有する光記録媒体に記録された情報を再生する第一の光量と、前記第一の光量より大きく、前記多層の信号記録面を有する光記録媒体に記録された情報を再生する第二の光量に調節する手段と、

前記光記録媒体の信号記録面の層数を判別する手段とを有し、

前記判別手段により光記録媒体の層数を判別する場合には、前記光量調節手段により前記第一の光量に調節することを特徴とする光学的情報記録再生装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

上記課題を解決するために、本発明は、単層又は多層の信号記録面を有する光記録媒体に対し、光源からの光束を対物レンズにより集光して情報の記録或いは再生を行う光学的情報記録再生装置において、再生光量を前記単層の信号記録面を有する光記録媒体に記録された情報を再生する第一の光量と、前記第一の光量より大きく、前記多層の信号記録面を有する光記録媒体に記録された情報を再生する第二の光量に調節する手段と、前記光記録媒体の信号記録面の層数を判別する手段とを有し、前記判別手段により光記録媒体の層数を判別する場合には、前記光量調節手段により前記第一の光量に調節することを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0029

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0029】

また、シーケモータドライバー10によってステッピングモータであるシーケモータ9が駆動され、光ディスク1の半径方向の任意の位置に光ピックアップ6が移送される。更に、光ピックアップドライバー8を介してレーザドライバー24が制御され、光ピックアップ6の半導体レーザ7からのレーザ光が制御される。このレーザ光は対物レンズ4により光ディスク1の記録面に集光され、情報の記録或いは記録情報の再生が行われる。